

【高等部の学習の様子⑳】

高等部 1 年 1 組の社会科「国土の気候の特色」の単元では、日本の国土の自然環境や気候に特色と私たちの生活との関連を考える学びに取り組んでいます。学習内容の「暖かい地域の暮らし」を調べる内容では、沖縄県の宮古島の暮らしを取り上げました。

実際に宮古島に住んでいる沖縄県立宮古特別支援学校の先生にご協力をいただき、Google meet でつながり授業を実施することができました。



生徒の質問に、具体的にパワーポイントやクイズ形式で楽しく教えていただきました。また、宮古特別支援学校の先生の話聞きながら、分かったことや疑問に思ったことについてジャムボードを活用して表現し、すぐに全員で共有できるようにしたり、先生とやりとりしたりしながら学びを深める様子が見られました。



生徒からは「家に貯水タンクがあることや（台風の対策のために）窓が割れないように格子があることが分かりました。」「農業では、防風林があり、（台風の）対策をしていることが分かりました。」「暑いので、お風呂場に浴槽がない家があることにびっくりしました。」等、たくさんの違いに気付くことができました。Google meet 後に「自分たちの相馬地方との生活と全く違った。」と話す等、それぞれの生徒が宮古島の自然環境の特色や気候を踏まえながら理解を深めることができました。

現在本校では、デジタル推進部が中心となって、思考ツールとしての ICT 機器の活用も推進しています。実際に活用することで、思考ツールを使う技術の「情報活用能力」の育成だけでなく、社会科の資質・能力を育成するための効果が大きいことを授業より実感しました。今後も、タブレット端末等の扱いを教員で研修をしながら、より生徒の学びが深まるようにしていきたいと思ひます。

